

Cub Cadet

手押式バキュームスイーパー CSV050

取扱説明書

ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください



SHINGU
SHOKO

目 次

1. 安全に運転するために	1
1-1 準備の前に	1
1-2 準備	1
1-3 ガソリンの取り扱い	1
1-4 運転	2
1-5 メンテナンス・保管	2
2. バキュームスイーパーをよりよく理解するために	3
2-1 はじめに	3
2-2 各部の名称	3
3. 警告表示のマークについて	4
4. 諸元表	5
5. 消耗品リスト	5
6. 組立、調整、始動準備	6
7. 機械の操作	9
7-1 各部の役割	9
7-2 始動・運転	9
7-3 ノズルの使用	10
7-4 ホースアッセブリの使用	11
8. 点検・整備	12
8-1 エンジンの点検（短期）	12
① エンジンオイルの交換	12
② エアクリーナーの点検	12
③ エンジン汚れの点検	13
8-2 エンジンの点検（長期）	13
① エアクリーナー	13
② エンジンオイル	13
③ スパークプラグ	13
④ 燃料フィルター	13
8-3 本体の点検・調整	13
① 潤滑	13
② 各種掃除	13
③ 排出口スクリーンの取り外し	13
④ チッパーブレードの点検	14
8-4 保管	16
9. 故障時の対応	17
10. 定期点検表	17

1. 安全に運転するために

⚠ 警告

☆ このスイーパーは身体や周囲の物に損害を与えるものを飛散させたり、手や脚を切断する恐れがあります。以下の安全事項の確認を怠ると、重傷を負ったり死に至る危険性が生じますので、この取扱説明書をよく読み不明な点があれば販売店までお問い合わせください。

1-1 準備の前に

1. 組み立てや操作を行う前に、この取扱説明書をよく読んで、この機械の構造などをしっかりと理解してください。取扱説明書は必要な時にすぐに確認できるような場所に保管してください。
2. 機械の特性や操作方法をよく理解してください。機械の停止の仕方を理解し、その作業を素早くできるようにしてください。
3. 子供には当機械を操作させないでください。大人が操作する場合も、取扱説明書をよく読んでこの機械の構造や操作方法を理解し、機械に精通した方からの指導を受けてください。
4. 機械を操作している時は、人やペットを機械から最低でも20mは遠ざけてください。もし、この範囲内に入ってきた場合は直ちに機械を停止してください。
5. 屋内や換気が不十分な場所でエンジンを作動させないでください。エンジンの排気ガスには一酸化炭素や無臭な有毒ガスが含まれています。
6. 回転部や投入口、排出口付近には手や足を近づけないでください。回転しているインペラーに接触すると、指や腕、足などを切断する恐れがあります。
7. エンジンが作動している状態で、排出口を開けたり、バッグを取り外したり、機械を点検・修理しないでください。これらを行う時はエンジンを停止し、プラグカバーを外し、可動部が完全に停止していることを確認してから行ってください。

1-2 準備

1. 機械を使用する場所を事前によく確認し、石やビン、缶、その他異物を取り除いてください。これらは機械を損傷させたり、はじいて人がケガをする原因となります。
2. 機械を操作、調整、修理している時には必ず保護メガネを着用してください。飛散物が目に当たると重大な怪我をする可能性があります。
3. 作業するときは、安全靴やたるみのない長ズボンやシャツを着用してください。たるんでいる服装やアクセサリーは可動部に巻き込まれる可能性があります。裸足やサンダルで作業してはいけません。また、チップの投入

口に物を入れるときは必ず防護手袋を着用してください。

4. 作業をする前に、全てのボルトを確認し、緩みがないことを確認してください。また、機械に損傷がないか目視で確認してください。
5. ラベル類がきちんと目視できる状態であるか確認してください。

1-3 ガソリンの取り扱い

人や物に重大な損害を与えないために、ガソリンの取り扱いには十分注意してください。ガソリンは非常に高い引火性があり、爆発することもあります。ガソリンをこぼして人にかかった場合は、すぐに皮膚を洗い流し、ガソリンのついた衣類は交換してください。

1. ガソリンは規格に合ったガソリン用の容器に入れ、通気のよい広い空間のある子供の手の届かない屋内の冷暗所に保管してください。
2. 車内や荷台などで容器にガソリンを入れないでください。容器にガソリンを入れる時は安定した地面に置いてください。
3. 容器や燃料タンクにガソリンを入れる時は、注ぎ口の縁にノズルをあてながら、確実にガソリンが入っていることを最後まで確認してください。
4. たばこなどの火種になるようなものは全て消してから作業してください。
5. 屋内では決して給油しないでください。
6. エンジンが作動している時や止めた直後でエンジンが熱い時は、燃料タンクキャップを開けたり、給油はしないでください。給油に関しては最低でも2分間は冷やしてからにしてください。
7. 燃料タンクを完全にガソリンで満たさないでください。ガソリンは膨張するため、ガソリンの量は注ぎ口の最下部から2cm程度下までにしてください。
8. 燃料タンクキャップはしっかりと締めてください。
9. ガソリンを機械にこぼしてしまった場合はエンジンを止めてすばやく拭き取り、再度エンジンを始動するまで5分程度時間を開けてください。
10. 引火の危険性を下げるために、機械に付着した草、葉、こぼれたガソリン、付けすぎたグリズなどはこまめに取り除いてください。

11. 機械やガソリンの容器は、裸火のある場所、温水器などのスイッチのスパークが出る場所、乾燥機やその他ガス器具があるような場所、その他引火や着火の危険性がある場所には保管しないでください。

1-4 運転

1. 回転部分やチップ投入口、排出口の近くに手や足を置かないでください。回転部分に接触すると手足に重大なケガを負うことがあります。
2. 機械を始動する前に、チップ投入口の中が空でゴミなどが詰まっていないことを必ず確認してください。
3. 細断しようとするものはチップ投入口に入れる前に材質を確認し、金属、石、ピン、缶、その他人や機械を傷つける恐れのある異物を取り除いてください。
4. インペラーに異物が接触した場合や、機械に異音や異常振動が発生した場合、すぐにエンジンを止めてください。インペラーが完全に停止したことを確認したら、プラグキャップを外してエンジンにアースし、以下のことを確認してください。
 - a. 損傷がないか点検してください。
 - b. 損傷がある場合は、部品交換または修理をしてください。
 - c. 緩んでいるネジ類があればきちんと締めてください。
5. 排出口に処理物が堆積しないようにしてください。これらを放置しておくとう排出が上手くいかず、投入口側で処理物がキックバックする可能性があります。
6. ラベルや当説明書に記載されている以上のものはシュレッダー投入口に入れないでください。人や機械を傷つける恐れがあります。
7. エンジンが作動している間は、チップ投入口や、排出口は開けないでください。エンジンを止めて可動部が完全に停止するのを確認してからプラグキャップを外してエンジンにアースしてください。その後、投入口や排出口のつまりを取り除いてください。
8. 排出口やバキュームバッグが正しく取り付けられていない状態で機械を操作しないでください。また、エンジンが作動している状態でバッグの交換はしないでください。エンジンの作動中、バッグは常に取り付けられている状態にしておきます。
9. 先端ノズルやホースキットが正しく取り付けられていない状態で機械を操作しないでください。エンジンが作動している状態でノズルやホースの交換はしないでください。
10. 全てのガード、安全装置が正常であるか確認してください。

11. キックバックによるケガを防止するためにチップ投入口の正面には立たないでください。
12. 暗闇や視界の悪いところで機械を操作しないでください。足を常に確認し、ハンドルをしっかりと持って操作してください。
13. 砂利が多いところや水平ではないところでは機械を操作しないでください。
14. アルコールや薬品の影響を受けている時に機械の操作をしないでください。
15. マフラーやエンジンは熱くなり、火傷の原因となりますので、触れないでください。
16. エンジンが作動している状態で機械を持ち上げたり、運搬したりしないでください。
17. この説明書に記載されていない状況が発生した場合は、注意しながら適切な判断をしてください。状況に応じて販売店に連絡してください。

1-5 メンテナンス・保管

1. 安全装置を改造したり取り外したりしないでください。正常に作動しているか定期的に確認してください。
2. 作業前にボルトやナットの緩みがないか確認してください。また、その他の箇所に損傷がないか目視で確認してください。
3. 清掃、修理、点検を行う時はエンジンを停止し、インペラーやその他可動部が完全に停止したことを確認してください。意図しない始動をさけるため、プラグキャップを外してエンジンにアースしてください。
4. ガバナの調節をして、エンジンをオーバースピードで使用しないでください。ガバナはエンジンの最大速度を制御します。
5. 警告ラベルや指示ラベルが損傷した場合、必要に応じて交換してください。
6. 積み込み、積み降ろし、輸送、保管を安全におこなうために説明書に従ってください。
7. 機械やガソリンの容器は、裸火のある場所、温水器などのスイッチのスパークが出る場所、乾燥機やその他ガス器具があるような場所、その他引火や着火の危険性がある場所には保管しないでください。
8. エンジンを停止してから5分以上冷ましてから保管してください。
9. オフシーズンの保管に関しては、説明書に従ってください。
10. 燃料タンクからガソリンを抜く場合は必ず屋外で作業してください。
11. ガソリンやオイルの処分方法は自治体の指示に従ってください。

2. バキュームスイーパーをよりよく理解するために

2-1 はじめに

このたびは CubCadet バキュームスイーパーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この説明書はバキュームスイーパーの正しい取扱い方法と、簡単な点検と手入れについて説明してあります。運転する前に必ずお読みいただき、正しく安全な取扱いをお願いします。

本機の品質には万全を期しておりますが、作動の不具合や部品などに不備な点がありましたら、当社営業所、販売店、又は協力サービス工場へご連絡ください。

- この取扱説明書はいつも手元に保管して繰り返しお読みください
- 取扱説明書に記載された使用方法及び保守点検を守らない場合は、本機の故障や事故などの原因となり、機械の寿命を縮めるばかりでなく作業の安全を損ないます。

お問い合わせ……本機のモデルNo.とシリアルNo.は、エンジン後方の排出部に表示してあります。下記の記入欄に御買い求めになったバキュームスイーパーのモデルNo.とシリアルNo.、購入年月日、購入店名を記録して頂き、お問い合わせ、部品の購入、修理依頼の際はシリアルNo.とモデルNo.を必ずご連絡ください。

モデルNo.			
シリアルNo.			
購入年月日	年	月	日
購入店名			

2-2 各部の名称

CubCadet手押し式バキュームスイーパーCSV050の各部の名称を以下に示します。スイーパーを操作する人は実際の操作に入る前にこの図をよく見て、芝刈機の運転や操作に必要な箇所を確認してください。

この「CubCadet手押し式バキュームスイーパー」の取扱説明書は事前によく理解しておき、作業に入った後も常に手元において、実際の操作の参考にしてください。



付属品

取扱説明書	1 式
保証書	1 部
上下ハンドル	1 個
ホースアッセンブリ	1 セット
保護めがね	1 個
バッグ	1 個
エンジンオイル	1 パック

3. 警告表示のマークについて

説明を分かりやすくするため、本機、取扱説明書には下記のようなマークを使用しています。

	本機をご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みください。
	正しい操作のための注意事項です。ここに説明された事項については、間違った取扱をすると事故や機械の故障の原因にもなりますので、必ず守ってください。
	特に重要な取扱上の警告事項です。ここに説明された事項については、間違った取扱をすると死に至る重大な事故や負傷の原因にもなりますので、必ず守ってください。
	作業時には保護メガネ、防音保護具（耳栓など）、保安帽を必ず着用してください。
	作業時または点検時にブレードを扱うときには、必ず保護手袋を着用してください。
	作業時には滑り止めのついた丈夫な保護長靴を必ず着用してください。
	引火しやすいガソリンを使用していますので、引火の恐れのある場所では給油、燃料の保管、作業などを行わないでください。
	エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。直接吸い込んだり、換気の悪いところでの使用はやめてください。
	エンジン本体やマフラーは高温になりますので直接触れるとやけどを負うことがあります。
	回転部分に手をふれないように注意してください。 また、投入口の中に手を入れないよう注意してください。
	本機が動いている間は、稼動部に手を触れてはいけません。又、カバーなどを外してはいけません。
	作業は必ず一人で行なってください。作業員から半径 20m 以内に人やペットを入れてはいけません。又、運転中の本機のそばを離れてはいけません。
	オイル漏れ、ガソリン漏れがあった場合は、本機を運転してはいけません。

4. 諸元表

エンジン	
排気量	159cc
オイルタンク容量	600 ml
標準エンジンオイル	10W-30
燃料タンク容量	1 ℓ
スパークプラグ	TORCH F5RTC (NGK BPR5ES)

本体	
重量	43kg
寸法	長さ 150cm
	幅 70cm (ホース収納時)
	高さ 98cm
走行	手押式
吸い込み作業幅	24 インチ (61cm)
チップ処理径	最大 35mm※粉碎物により異なります
バキュームホース径	約 10cm
チップブレード/シュレッダーハンマー	1 枚/2 個

5. 消耗品リスト

品名	発注番号
スパークプラグ NGK BPR5ES (TORCH F5RTC と同様品)	780044
エアクリーナーエレメント	970827
燃料フィルター	970826
タンクキャップ Asy	970828

6. 組立、調整、始動準備

当商品は適切な操作及び維持管理をしていただくことで、優れた性能を発揮します。組立や操作をする前に取扱説明書をよく読み、当商品を安全かつ効率的に組立、操作、維持管理する方法を確認してください。また、人や物を傷つける恐れがありますので、取扱説明書に記載されている安全対策は、当商品进行操作する人員が全て把握しているか確認してください。

当商品は、エンジンにガソリンやオイルが入っていない状態で出荷されます。操作する前に取扱説明書に従ってガソリンやオイルを補充してください。

○ハンドル

- ハンドルブラケットからヘアピンを取り外し、ハンドル下部からキャリッジボルトとウイングナットを取り外します。
- ハンドル下部の下の穴をハンドルブラケットのピンに合わせ、ヘアピンを上から下に止めます。(図.6-1-a)
- ハンドル下部の上の穴にキャリッジボルトを挿入し、ウイングナットで固定します。(図.6-1-b)

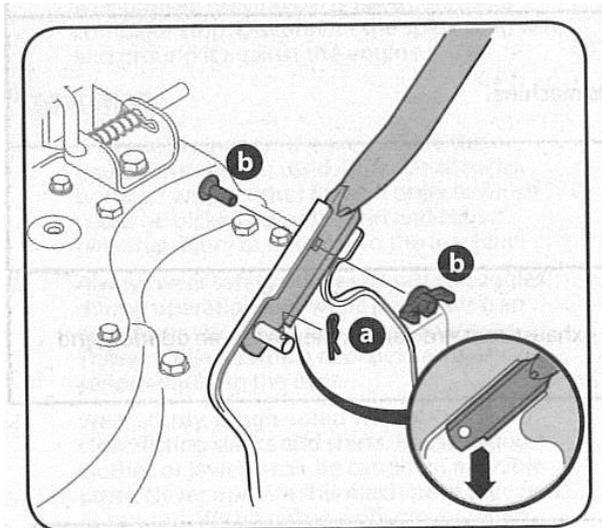


図.6-1

- ハンドル上部をハンドル下部に合うまで持ち上げます。ロープガイドがハンドル上部の、向かって左側にあることを確認します。(図.6-2-a)
- スターノブを締めて、上下のハンドルを固定します。その際にキャリッジボルトが正しく挿入されているか確認してください。(図.6-2-b)

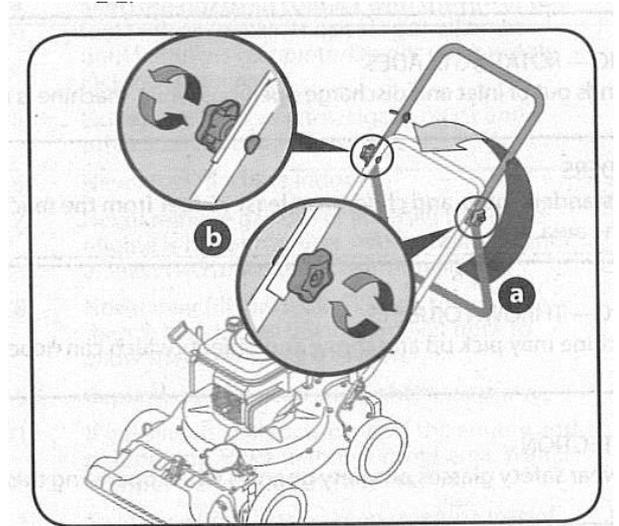


図.6-2

- ハンドル上部にあります、ロープガイドを固定しているウイングナットを緩めます。
- エンジンのスターターロープをゆっくり引きます。(図.6-3-a)
- スターターロープをロープガイドに差し込みます。(図.6-3-b)
- ウイングナットを固定します。(図.6-3-c)

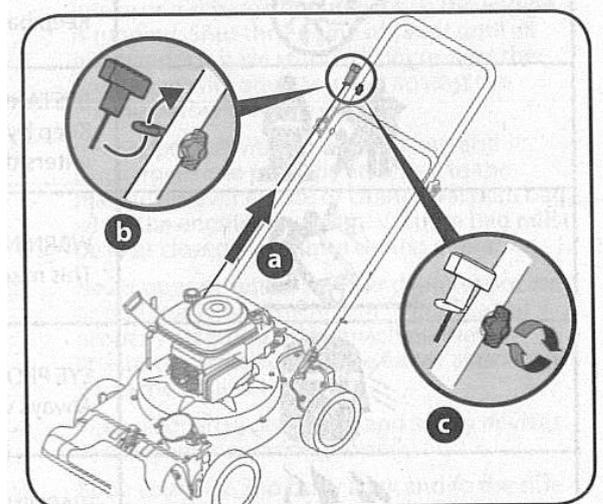


図.6-3

○ホース

- 本体に向かって右手前にあるベースアダプターに、ホース ASSY のホースアダプターを挿入します。(図.6-4-A)
- ベースアダプターに付いているバネ付きのピンを引っ張り、ホースアダプターの下側の穴にピンを合わせ、ピンを離してホースを固定します。(図.6-4-B) 下の穴に合わせている時はノズルを使用する時で、ホースを使用する時は上の穴にピンを合わせます。

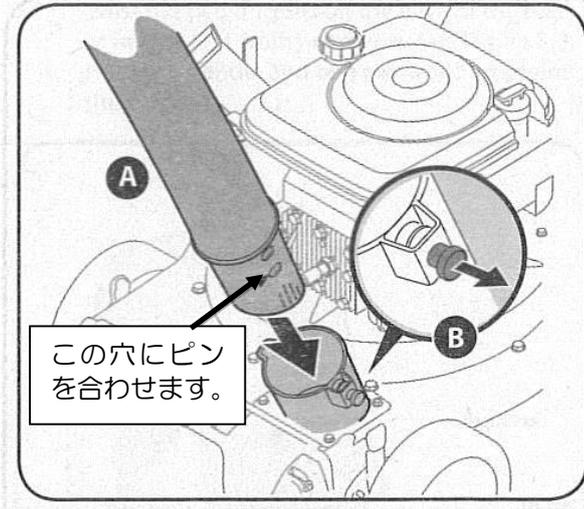


図.6-4

- ホースハンドルの湾曲している部分にホースを接続します。(図.6-5-a)
- ホースは、向かって左手前の補助金具(図.6-5-b)を通り、チップ投入口の横を通り、ハンドルに添わせます。
- まず、ホースハンドルを上部のブラケットに固定し、その後、下部のブラケットに固定します。(図.6-5-c)

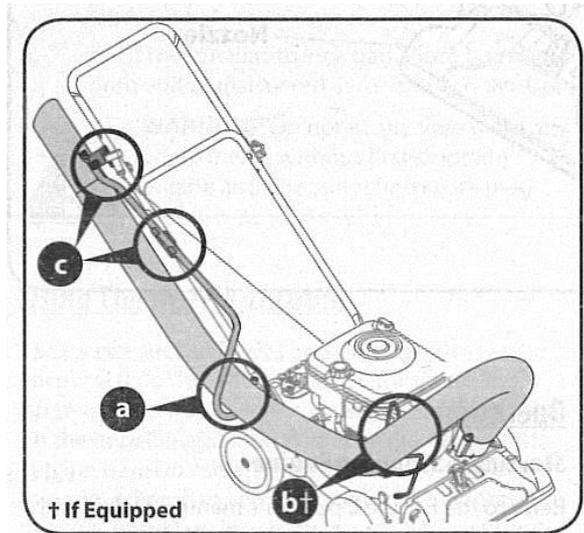


図.6-5

○バッグ

- バッグのハンドルを片手で持ちながら、もう片方の手で本体排出口上部に付いているロックロッドをエンジン側にスライドさせます。ロックロッドをスライドさせる際は、エンジン寄りの金具をレバーとして使用してください。(図.6-6-1)
- 本体排出口にバッグをはさみ、ロックロッドを離してバッグを固定してください。(図.6-6-2)
- バッグ上部のクリップをハンドル下部の上端に固定します。(図.6-6-3)
- バッグ下部のストラップをハンドル下部のピンに上から引っ掛けます。(図.6-6-4)

※バッグの固定が不安定であったり、エンジンがスタートしない場合は、本体排出口の上部にあり、安全装置である黒いスイッチボタンをバッグの取付樹脂部分で完全に押し下げてください。

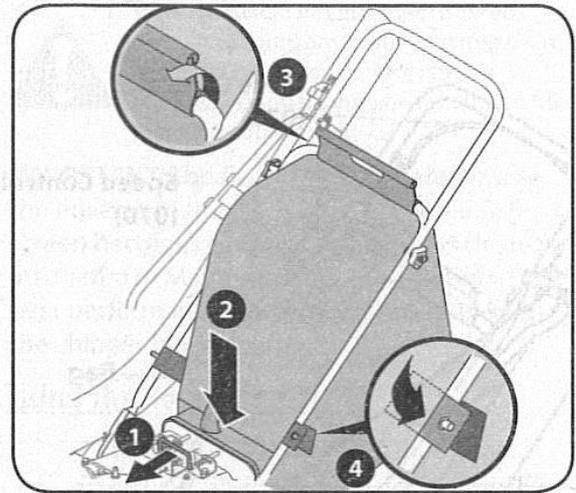


図.6-6

○ノズル高さ調整

- バキュームの先端ノズルは、高さ約 1.5～10.5cm の 6 段階で調整できます。ノズルの高さは使用する場所の状態によって調整する必要があります。
- ノズル高さ調整レバーをホイール側に向けて押し付け、レバー根元の穴のはめ込みを外します。(図6-7-1)
- 調整レバーを前後に動かして、ノズルの高さを調整します。手前にすれば低く、奥にすれば高くなります。その際に左右のレバーの位置が同じになるようにしてください。複数人いる場合は、一人がレバーを押し付けている間に他の人が本体を直接持ち、高さを調整してください。一人で作業する場合は、レバーのみで本体を上下するのは重たいので、手を挟まないように注意しながら作業してください。(図6-7-2)
- 調整レバーを本体側に戻し、固定します。(図6-7-3)

※一般的に、乾いた枝や葉を吸引する場合はノズルを高くし、少し水分を含んだものや松の針状の葉を吸引する場合はノズルを低くして使用します。

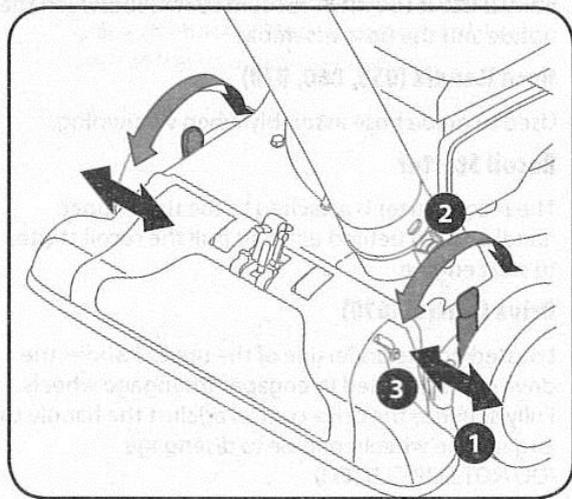


図6-7

○ガソリンとオイルの充填

- 使用する前にエンジンオイルを必ず入れてください。
- 取扱説明書の内容をよく理解して、ガソリンを入れてください。

▲ 警告

- ガソリンを取り扱うときは細心の注意を払ってください。ガソリンには非常に高い引火性・爆発性があります。
- エンジンを屋内では使用しないでください。また、エンジンが熱い、エンジンが動いている時には給油はしないでください。たばこや葉巻などの火は消してください。
- 給油はエンジン停止から最低でも2分以上は冷やしてからおこなってください。

7. 機械の操作

7-1 各部の役割

▲ 警告

●チップーシュレッダーが作動している時は、跳ねた粉砕物などが目に当たり、深刻なケガをする恐れがあります。機械を操作、調整、修理するには保護めがねを必ず着用してください。



○チップー投入口

- 直径35mm程度までの小枝をインペラーまで持っていき、粉砕します。

○ノズル高さ調整レバー

- 約15mmから105mmの範囲でノズルの高さを調整します。

○ノズル

- 平たい葉や松の様な針状の葉などの庭のゴミを吸い上げて、粉砕しながら吸引します。

○ホースアッセンブリ

- 平たい葉や松の様な針状の葉などの庭のゴミをノズルの代わりに吸引します。

○ノズル/ホース切換レバー

- ノズル/ホース切換レバーはノズルの上部にあります。これを使用することで、ノズルによる吸引とホースによる吸引を切り換えます。

○ホースハンドル

- ホースによる収集を行う際は、ここを持ちながら行います。

○リコイルスターター

- リコイルスターターのハンドルは向かって左側のハンドル上部にあります。機械の後ろに立ち、エンジンを始動するためにリコイルスターターを引っ張ってください。

7-2 始動・運転

○エンジンの始動

- エンジンに付いているチョークノブを引っ張ります。(図.7-1-2) エンジンが暖まっている時や気温が高い時には、この動作は必要ありません。また、当製品に図.7-1-1の燃料コックは付いておりません。
- エンジンに付いているスイッチをONにします。(図.7-1-3)
- 右足でスイーパーの後車輪をしっかり押えつ、スターターハンドルを抵抗(クランク圧)を感じるまでゆっくりと引きます。そこからスターターハンドルを勢い良く引きま、10回繰り返してもエンジンが始動しない場合、数分待ってからやり直してください。スターターハンドルを引いた後、元の位置に戻すときには、スターターの損傷を防ぐためにゆっくりと戻してください。
- エンジンが始動して暖まったらチョークノブを押し込んで元の位置に戻してください。(図.7-1-5)

○エンジンの停止

- エンジンを止めるときは、エンジンに付いているスイッチをOFFにします。(図.7-1-3)

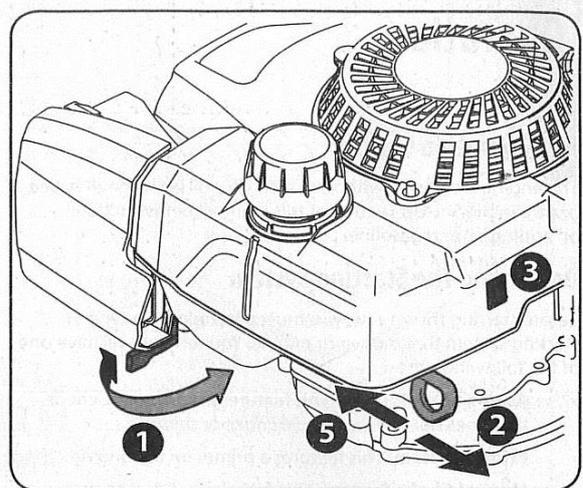


図.7-1

○バッグの取り外し

- バッグ下部のストラップをハンドル下部のピンから外します。(図.7-2-1)
- バッグ上部のクリップをハンドル下部の上端から外します。(図.7-2-2)
- 片手でバッグハンドルを持ちながら、もう片方の手でロックロッドをエンジン側に移動させます。(図.7-2-3)
- バッグを本体から離すようにして外します。(図.7-2-4)

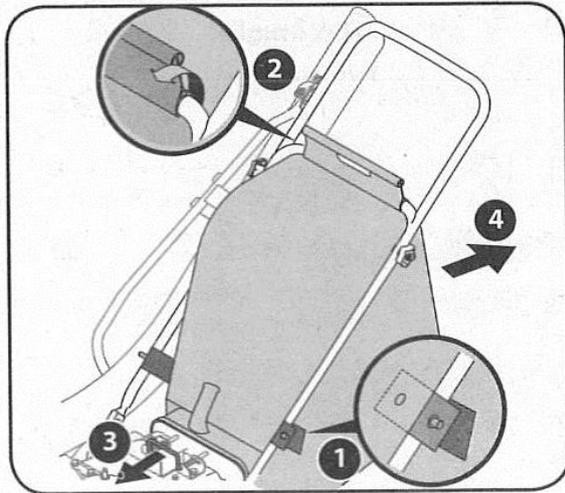


図.7-2

- バッグの後ろにある 2 つのボタンを外して開口部を開きます。前面にあるバッグハンドルと上部にあるクリップを持ちながら中身を出してください。(図.7-3)

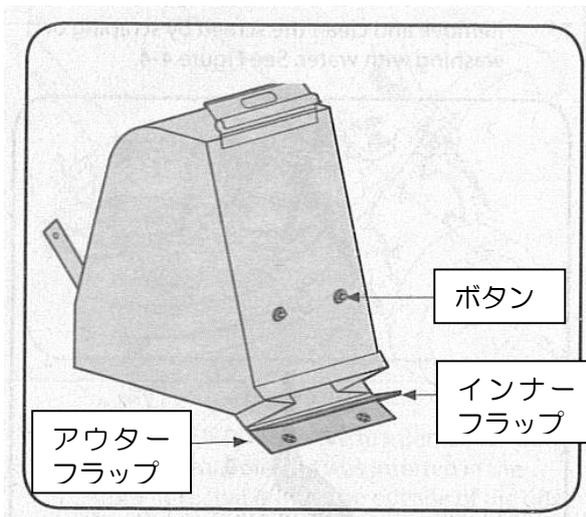


図.7-3

- バッグの後部の開口部をたたみ、インナーフラップを開口部の上に折り込みます。
- インナーフラップの上にアウターフラップを折りたたみ、バッグのボタンをとめます。
- P.7”組立”の”バッグ”の項目の通りに取り付けます。

▲ 警告

- バッグを取り外すときは、必ずエンジンを止めて、スパークプラグのキャップを外してください。

7-3 ノズルの使用

平たい葉や松のような針状の葉などの庭のゴミは、ノズルを通して吸引し、細断することができます。インペラーの上に付いているシュレッダーハンマーで細断された後にバッグへと排出されます。枝や葉などの植物以外のものを吸引、細断しないでください。トマトのつるなどの繊維質なものは完全に乾燥するまで避けてください。吸引できない重さや大きさの枝は直径 35mm 程度までであればチップ投入口に入れることができます。

- ノズルの上に付いているノズル/ホース切換レバーを上引っ張りながら、正面から見て奥に倒し、吸引口をノズルの方にします。(図.7-4)
- ホースの差し込んであるベースアダプターのバネ付きのピンをホースアダプターの下の穴に合わせます。(図.7-4)

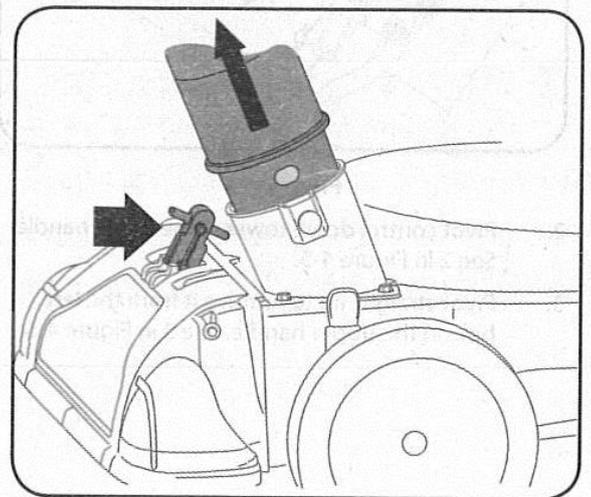


図.7-4

- 両手でハンドルを持ちながら機械を手で押しながらノズルで吸引します。

▲ 警告

- 人または機械に重大な損傷を与える可能性があるため、機械または取扱説明書に記載されている以上の大きさのものを細断、吸引しないでください。

⚠ 注意

- シュレッダーのスクリーンはハウジング内部の排出口にあります。スクリーンが詰まっているときは、後記の点検の項目に従いながら取り外して清掃してください。最高の性能を発揮するにはチップー刃の鋭さを保つことも重要です。

7-4 ホースアッセブリの使用

- ノズルの上に付いているノズル/ホース切換レバーを上引っ張りながら、正面から見て手前に倒し、吸引口をホースアッセブリの方向にします。(図.7-5)
- ホースの差し込んであるベースアダプターのバネ付きのピンをホースアダプターの上の穴に合わせます。ホースアダプターをベースアダプターに深く差し込む際に、先端でバネ付きの鉄板を押し込む必要があり、この鉄板を押し込んで開くことでホースの吸引ができます。(図.7-5)
- ホースを上下のブラケットから外し、ホースハンドルを持ちながら作業してください。作業範囲は機械が動かない範囲にとどめ、ホースを引っ張って機械を動かすようなことはしないでください。

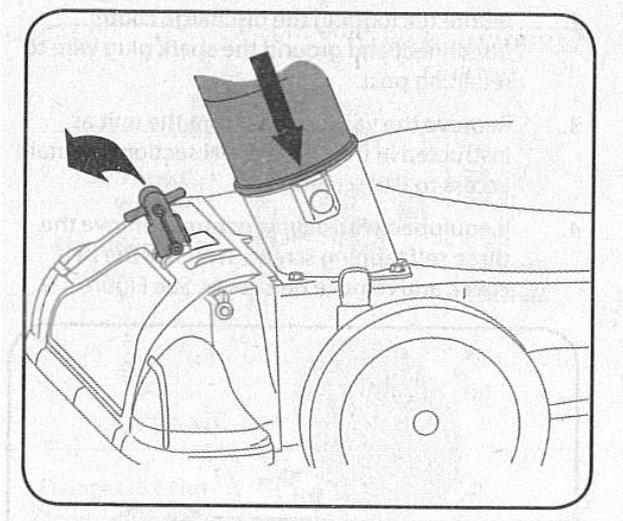


図.7-5

8. 点検・整備

- ◇ 製品の性能を維持するために部品はCub Cadet純正部品を使用してください。部品及び整備の方法について詳しくは販売店におたずねください。
- ◇ 部品注文の際は、必ずモデル名とシリアルナンバーをお知らせください。
- ◇ 製品の点検・整備をする場合は、必ずプラグコードをスパークプラグから外してください。これは不意にエンジンが始動するのを防止するためです。
- ◇ 製品の底部の点検・整備をするために、製品を傾ける場合はマフラーが下側になるように傾けてください。これはオイルがエアクリーナーに付着して、始動困難になることを防ぐためです。
- ◇ 5分以上エンジンを傾けないでください。
- ◇ 傾けた状態でエンジンを運転しないでください。

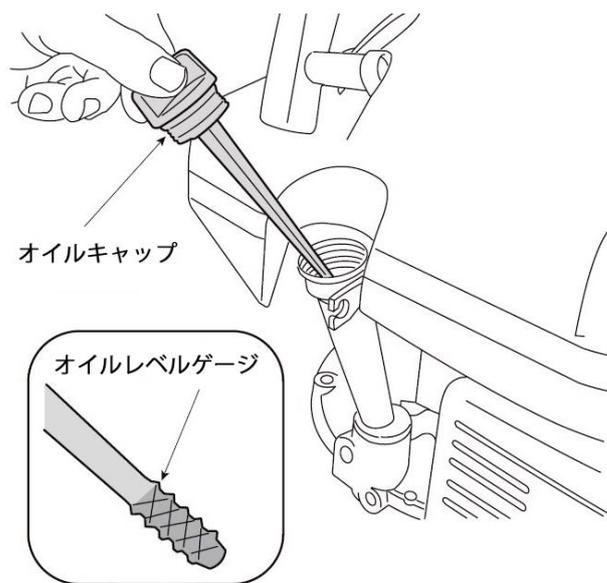
8-1 エンジンの点検（短期）

① エンジンオイルの交換

- オイル交換は最初は5時間運転後に行ない、その後は、50時間運転毎に行ってください。オイル量の確認は5時間ごとに行ってください。
 - エンジンが冷えてから、燃料を空にして、更にキャブレターの燃料も空にします。エンジンが熱いうちに作業を行うとガソリンに引火して、火災の原因となります。
1. エンジンオイル注入口下部にありますドレンプラグを緩めるとエンジンオイルが流れ出てきますから空き缶などで受けます。（図8-1）
 2. オイルが排出されたら、オイル注入口からエンジンオイルを適量入れます。オイルの量は多すぎてもいけません。ゲージを確認し、正しい量であるか確認してください。
 3. オイルが排出されたら、オイル注入口からエンジンオイル（10W-30）を適量入れます。オイルの量は多すぎてもいけません。ゲージを確認し、正しい量であるか確認してください（図8-2）。



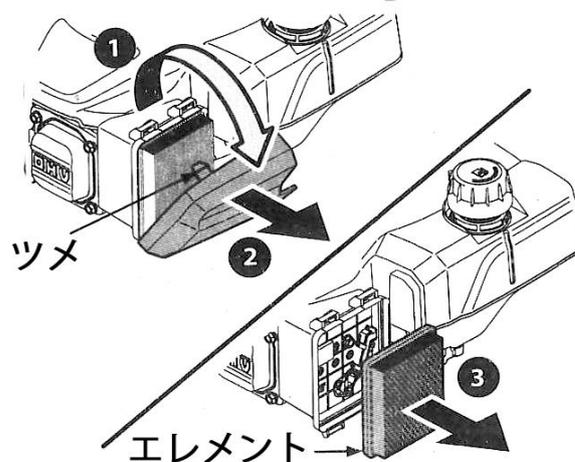
(図8-1)



(図8-2)

② エアクリーナーの点検

5時間ごとにエアフィルターを点検します。フィルターカバーのツメを押し、カバーを開けるとエレメントを取り出せます。エレメント(P/N 970827)は洗浄できないので、固い部分を叩いて汚れを落としてください。（図8-3）



(図8-3)

③ エンジン汚れの点検

エンジン外装やマフラー周りなどにゴミが付着、堆積していないか点検します。

8-2 エンジンの点検（長期）

① エアクリナー

シーズンごと、もしくは100時間使用ごとにエアクリナーのエレメント（P/N 970827）は交換してください。

埃っぽい使用環境などの場合、もう少し早く交換してください。

② エンジンオイル

シーズンごと、もしくは50時間使用ごとにエンジンオイルは交換してください。

③ スパークプラグ

シーズンごと、もしくは25時間ごとにスパークプラグを点検します。

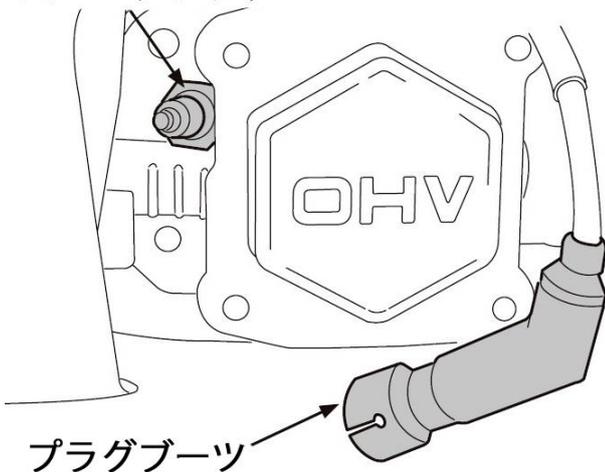
プラグキャップを外し、プラグレンチ（半径21mm）を使用してスパークプラグを取り外します。

電極間隙は0.8mm程度で、堆積物などがある場合はワイヤーブラシで掃除してください。

割れなどがあったり劣化がひどい場合、もしくは100時間使用ごとに交換してください。

交換の際は「NGK BPR5ES（P/N 780044）、または同等品」を半径21mmのプラグレンチで取り付けてください。（図.8-4）

スパークプラグ

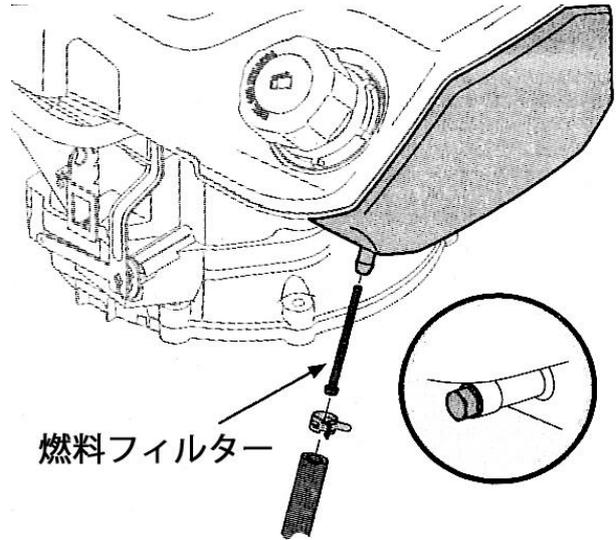


（図.8-4）

④ 燃料フィルター

シーズンごと、もしくは100時間使用ごとに燃料フィルターは交換してください。

燃料フィルター（P/N 970826）は燃料タンク下部のホース接続部に内蔵されています。（図.8-5）



（図.8-5）

8-3 本体の点検・調整

本体の点検、調整は少なくとも1年に1回はおこなってください。また、使用前には毎回、各部のネジなどに緩みがないか確認してから使用してください。

① 潤滑

1. 各ホイールの軸に潤滑油を塗布してください。
2. 各ノズル高さ調整レバーに潤滑油を塗布してください。
3. バッグ取り付け部のロックロッドに潤滑油を塗布してください。
4. ノズル/ホース切換レバーに潤滑油を塗布してください。

② 各種掃除

1. 使用する度に、チップ投入口やノズル、ホース内を掃除してください。
2. バッグが汚れてきたら都度水洗いをして、日陰で完全に乾かしてください。
3. 排出口のスクリーンが目詰まりした場合は、下記手順にしたがって取り外し、清掃してください。

③ 排出口スクリーンの取り外し

排出口が詰まっている場合は、以下の通りの手順でスクリーンを取り外して掃除してください。

1. エンジンを停止し、チップやシュレッダー、ノズルやホースからの吸引が完全に停止したことを確認してください。

2. 排出口を確認する前に、スパークプラグのキャップを外し、アースしてください。
3. 取扱説明書の内容を確認しながらバッグを取り外し、排出口からスクリーンを確認します。
4. スクリーンを横から固定している本体に向かって左側のタッピングスクリューを取り外します。(図.8-6-A)
5. スクリーンを上から固定している、排出口上部の本体に向かって右側(ロックロッドの右下)の六角スクリュー(図.8-6-B)と、そのスクリューを下から固定しているフランジロックナット(図.8-6-C)を外します。

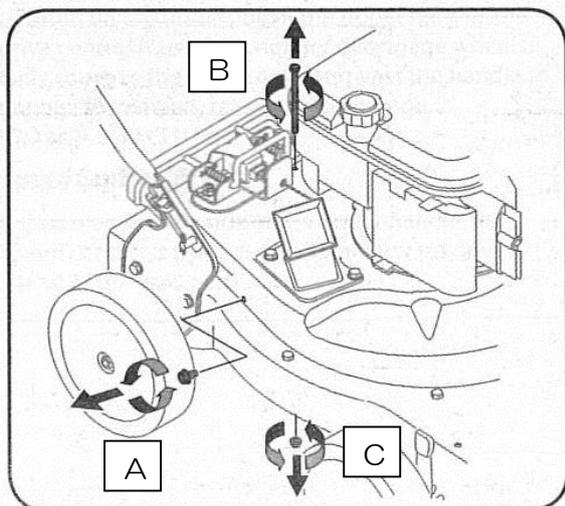


図.8-6

6. スクリーンを取り外し、清掃してください。(図.8-7)

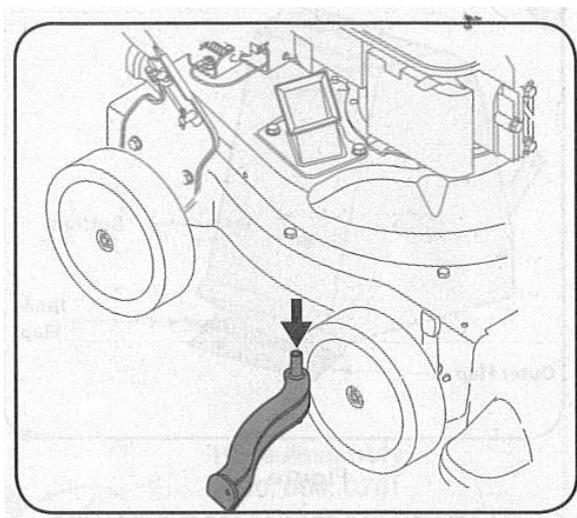


図.8-7

7. スクリーンの清掃が終わったら再度取り付けてください。

④ チッパーブレードの点検

1. スパークプラグのキャップを外し、アースします。
2. バッグを取り外します。
3. チッパー投入口を本体に固定している3本のスクリューを外します。(図.8-8)

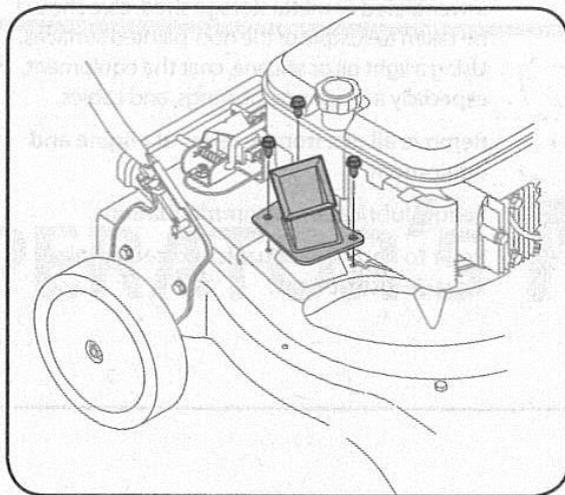


図.8-8

4. 本体前方の前輪部にあるピボットアムアッセンブリに取り付けられている、フランジロックナット(図.8-9-a)、前輪、ウェーブワッシャー(図.8-9-b)を取り外します。
5. ピボットアムを通してフロントサポートに付いている、ショルダースクリュー(図.8-9-c)、スラストワッシャー(図.8-9-d)、ベルワッシャー(図.8-9-e)を取り外します。フロントサポートとロックナットはこの時点でも取り外せません。

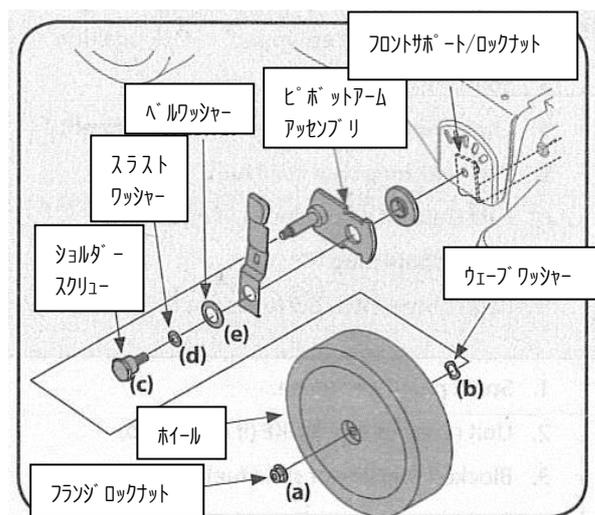


図.8-9

6. ノズルカバーを固定している本体前方上部に付いている4本のスクリューを外します。(図8-10)

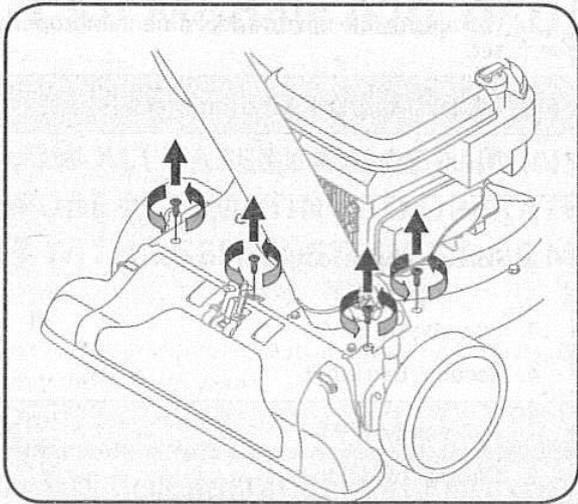


図8-10

7. 本体を慎重に傾けて、本体底部の作業ができるように固定してください。本体底部にある、黒いプラスチックの下部ハウジングを固定している3本のショルダースクリューを外します。(図8-11-a)

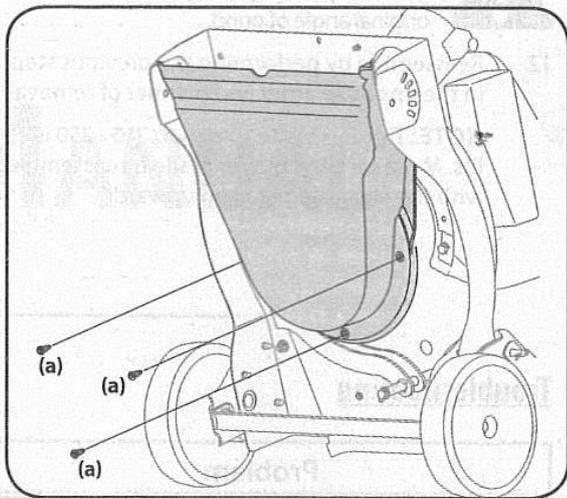


図8-11

8. 黒いハウジングの上端をエンジン側に傾けて本体から取り外します。
9. 3/16インチのアーレンレンチを使用して、チップーブレードをインペラーに固定しているフラットヘッドキャップスクリュー(図8-12-a)を取り外します。このスクリューを外すときは、3項でチップー投入口を外した時の開口部から外します。

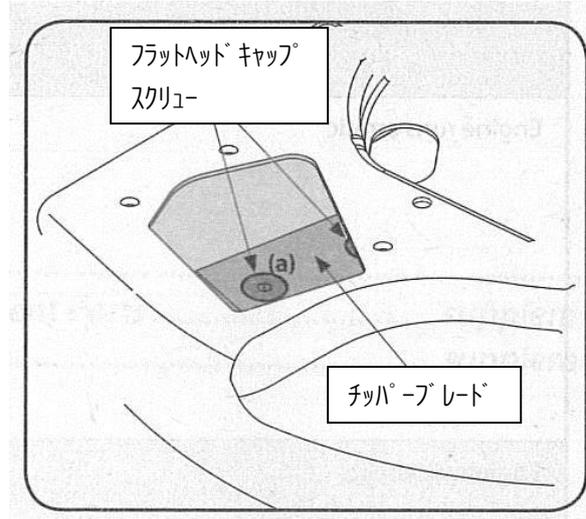


図8-12

10. フラットヘッドキャップスクリューを固定しているナット(図8-13-a)は、1/2インチのソケットを使用して下から抑えてください。

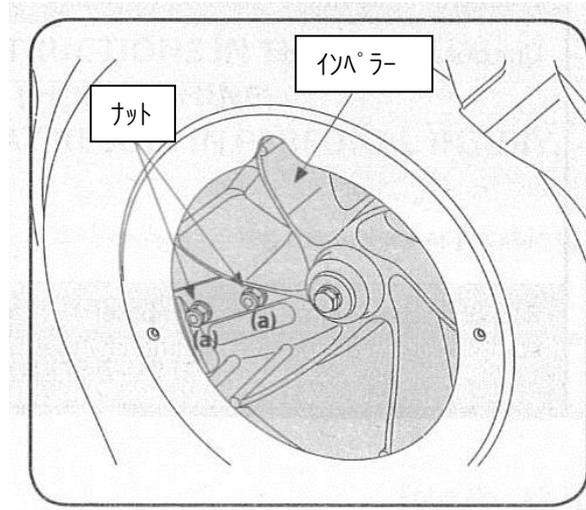


図8-13

11. 取り外したチップーブレードは、交換するか砥石で研ぐなどしてください。

警告

●チップーブレードはとても鋭利ですので、ブレード扱う際には手を保護するために作業手袋を着用し、研ぐときは元の角度にしたがって研いでください。

12. 逆の手順で再組み立てしてください。ブレードの締め付けトルクは約2.5kgf・mです。

8-4 保管

- シーズン終了後スノーバーを下記の要領で保管します。
1. スノーバーを換気が十分でないところ、金属性の保管庫などで保管するときは、塗装されていない部分のサビに注意してください。スプリング、ベアリング、ケーブルなどはグリスなどを塗布してください。
 2. エンジン及び本体に付着したゴミや汚れを落としてください。
 3. 潤滑の項にしたがって、潤滑油を塗布してください。
 4. 燃料タンクから燃料を抜きます。エンジンを始動してキャブレター内の燃料を使いきります。
 5. スパークプラグからプラグコードを外します。
 6. 水洗いをする時は、マフラーの排気口や冷却風の吸気口などの開口部に水が浸入しない様にテープなどで塞ぎます。
 7. 整理整頓された乾燥した場所に保管してください。火花を発生させる可能性のある機器のある場所には保管しないでください。

9. 故障時の対応

故障の状態	原因	対処
エンジンがかからない	エンジンスイッチが OFF になっている	エンジンスイッチを ON にする
	スパークプラグキャップが外れている	スパークプラグにキャップを差込みます
	チョークがされていない	チョークレバーをチョークの位置にします
	燃料タンクが空または古い燃料	きれいで新しいガソリンを補充します
	スパークプラグの不良	清掃、ギャップ調整または交換します
	バッグ取付の安全装置がきいている	バッグが正しく取り付けられ、安全装置のスイッチが完全に押されていることを確認します
エンジンが不安定	スパークプラグのキャップが緩んでいる	プラグキャップをきちんと取り付けます
	チョーク状態で作動している	チョークを OFF の位置にします
	燃料系統の詰まり、または古い燃料	燃料系統を清掃し、新しい燃料にします
	水の混入や燃料の劣化	タンクから燃料を抜き新しい燃料にします
	エアクリナーの詰まり	エアエレメントを清掃または交換します
	キャブレター調整の不具合	販売店までお持ちください
オーバーヒート	エンジンオイルの量が少ない	適切なオイル量にします
	エアクリナーの詰まり	エアエレメントを清掃または交換します
異常振動	取付部の緩みまたはインペラーの損傷	販売店までお持ちください
排出しない	排出口が詰まった	エンジンを止めて排出口のスクリーンや内部に詰まったものを取り除きます
	インペラーにものが挟まった	エンジンを止めて挟まったものを取り除きます
	バッグが満杯になった	バッグの中身を捨て、空にしてください
排出が遅い	チップーブレードが摩耗してきた	ブレードを交換するか、研いでください

10. 定期点検表

点検箇所	内容	参照ページ	毎回	5	25	50	100	毎年
				時間	時間	時間	時間	
エンジンオイル	点検	13 ページ	○					
	交換	13 ページ		○*		○		○
エアクリナー	清掃または交換	15 ページ			○		○	○
スパークプラグ	交換	15 ページ					○	○
燃料フィルター	交換	15 ページ					○	
チップーブレード	点検し、研磨または交換	14 ページ	○					
デッキ	堆積した草を清掃	15 ページ	○					

* 初回交換



株式会社 新宮商行

関東支社	〒270-2231 千葉県松戸市稔台 6-7-5	TEL 047(361)4701(代)
(機械本部)		
北海道営業所	〒047-0032 北海道小樽市稲穂 2-1-1	TEL 0134(24)1313(代)
東北営業所	〒963-0547 福島県郡山市喜久田町卸 1 丁目 37 番 1	TEL 024(959)6212(代)
東京営業所	〒270-2231 千葉県松戸市稔台 6-7-5	TEL 047(361)6831(代)
名古屋営業所	〒463-0022 名古屋市守山区八剣 1-303	TEL 052(768)1303(代)
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-33-29	TEL 06(6380)0381(代)
高知出張所	〒781-5102 高知市大津甲 515-1	TEL 088(878)5400(代)
福岡営業所	〒813-0062 福岡市東区松島 6-4-17	TEL 092(611)1988(代)

2018.07